

テーマ 農商工連携・6次産業化

# 他には類がない銘柄豚を開発し組合員の活性化を目指す

## 中濃ミート事業協同組合

霜降りが豊富で美味しい銘柄豚「ポーノポーク」を農商工連携の取組みにより開発。新評価基準を定めたことにより、ブランド力の強化に繋がりさらなる組合員の活性化を目指す。

### 背景と目的

当組合では、組合員（精肉事業者）や養豚農家が生き残るには、「お値打ちで本場に美味しい豚肉」を消費者に提供することが重要であると認識している。しかも、市場に存在する多数の銘柄豚間競争は激しく、オリジナルで差別的優位性を持つ銘柄豚開発が喫緊の課題であった。同時に、消費者へ「美味しい豚肉」をアピールするために、ッしもふり〃割合と美味しさを評価・証明する基準を作成することも課題であった（これまでの豚肉評価方法は、枝肉重量と外観による格付けのみであった）。

### 事業・活動の内容

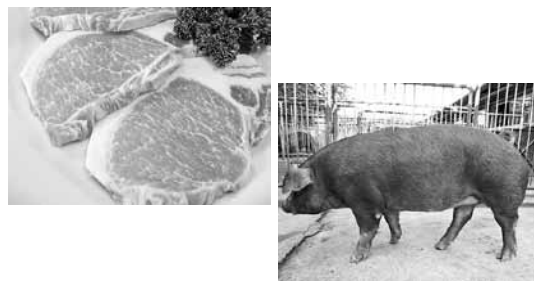
当組合では、課題解決に向けて、事業全体の主導的役割を担い、農商工連携により銘柄豚「ポーノポーク」の開発を行うこととした。岐阜県畜産研究所養豚研究部は枝肉のッしもふり〃割合を増加させる遺伝的能力を持つ種豚を開発、また、養豚農家である有限会社カタノ・ピックファームは銘柄豚育成の研究に協力、日本農産工業株式会社は、安定した肉質を作る専用飼料を開発した。以上の4者連携により、ッしもふり〃割合が一般的な豚の約2倍で、肉のうまみ成分と脂の甘みが強いポーノポークの開発に成功した。

### 活動の成果

発売中のポーノポークは、小売事業者から「かむほどに味がある」「ポーノポーク目当てに来店客が増えている」など高評価を得ている。また、養豚農家有限会社カタノ・ピックファームの地元瑞浪市は、ポーノポークの特産品化を積極的に行っており「ポーノポーク」について情報を市のホームページで発信することに加え、農産物等販売所「きなあた瑞浪」での販売や、瑞浪市内21の飲食店が参加するスタンプラリーの開発等を行い、市をあげて応援している。

さらに、ブランド強化に向けて商標登録「瑞浪ポーノポーク」を行い、新聞等で記事になる機会も増え、知名度は全国的に広がりつつある。従って将来的には、組合員（精肉事業者）と養豚農家の減少に歯止めがかかり、事業活性化や地域活性化

により後継者への円滑な事業承継が期待される。



「瑞浪ポーノポーク」の平均霜降り割合は、一般的な豚肉（3.2%）の約2倍（6.1%）

### 中濃ミート事業協同組合

住所：〒501-3928  
岐阜県関市西田原458番地  
設立：昭和56年5月  
出資金：7,100千円  
電話：0575-24-3080  
URL：-  
業種：食肉小売業  
組合員：18人  
組合専従者：22人（うち専務理事1人）